

3 下水道事業会計

〔概要〕

平成 29 年度下水道事業会計予算は、業務の予定量として汚水整備戸数 28 戸、年間総処理水量 22,126 千 m^3 を見込み、これらに必要な諸経費及び使用料収入等を計上しました。

まず、収益的収支ですが、下水道事業収益 6,065,837 千円から消費税及び地方消費税分 172,977 千円を控除し、下水道事業費用 5,527,000 千円から消費税及び地方消費税分 98,641 千円を控除した結果、当年度純利益は 464,501 千円となります。

次に、資本的収支ですが、本年度の主な事業としては、玉川ポンプ場事業のほか、西部浄化センターの再構築事業や老朽化した合流管渠及びポンプ施設の改築事業等の費用を計上しました。

収入においては、これら支出に対応する財源として、国庫補助金、企業債等を計上しました。

その結果、資本的収入 4,282,113 千円、資本的支出 6,280,000 千円となり、差引 1,997,887 千円の財源不足となる見込みですが、これは、損益勘定留保資金等で補てんすることとしました。

〔収益的収支及び資本的収支〕

収益的収支

項 目		予算額(千円)
収 入	使用料収入	2,273,933
	他会計負担金	1,510,999
	他会計補助金	208,033
	長期前受金戻入	2,005,646
	その他収入	67,226
	収 入 計	6,065,837
支 出	職員給与費	586,503
	動力費	148,276
	補修費等	112,060
	減価償却費	3,430,455
	支払利息	450,374
	その他支出	799,332
支 出 計	5,527,000	
差 引	538,837	
消費税及び地方消費税	△ 74,336	
当年度純利益 (△は当年度純損失)	464,501	
その他未処分利益剰余金変動額	216,190	
未処分利益剰余金 (△は未処理欠損金)	1,494,193	

資本的収支

項 目		予算額(千円)
収 入	企業債	1,861,100
	国庫補助金	1,968,000
	他会計出資金	421,620
	その他収入	31,393
	収 入 計	4,282,113
支 出	管渠事業費	2,153,545
	処理場事業費	1,852,392
	受益者負担金徴収事務費	682
	その他支出	8,534
	企業債償還金	2,264,847
支 出 計	6,280,000	
差 引	△ 1,997,887	

資本的収支差引不足額は、損益勘定留保資金等で補てんします。